



ボランティアを知ろう！

ボラセン情報

ボランティアは自分の関心のあるテーマ、自分にできることから始められるとても身近な活動です。

ボランティア活動は、地域や社会をよりよくしていくことに役立つとともに、活動する自分自身も豊かにしてくれる力を持っています。



でも、ボランティアってどんなものがあるの？

◆ボランティア活動とひと口に言っても、さまざまなものがあります◆

◆イベントの補助◆

施設や団体の行事のお手伝い。例えば運動会や夏祭りなどで参加者のサポートや出店の手伝い、入所者とのふれあいなどをします。



◆話し相手◆

在宅の方や施設入居者の方々が、心豊かな時間を持てるように話し相手となります。



◆趣味・特技を活かして◆

マジックや編み物、草刈り、剪定、歌や俳句、短歌、囲碁、将棋、など自分の趣味や特技もボランティア活動につながります。



紹介したのはあくまで一例です。好きなことや興味のあることなど、まずは自分に合った活動を探すことから始めましょう。

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい方とボランティアに来てほしい方をつなげるなど、ボランティアに関する情報の提供やご相談などをお受けしています。

まずはお気軽に佐世保市ボランティアセンターへ来所またはお電話でご相談ください。

ボランティアの皆さんへ、お知らせです

登録ボランティアの皆さん 登録の更新をお願いします！

ボランティアセンターに登録しておられる個人ボランティアの方、登録団体の方には更新の書類を2月に送付いたします。

登録団体は登録を継続される場合、平成28年度の活動報告書、平成29年度登録票のご提出をお願いします。

登録を取り消される団体は、所定の用紙を送付いたしますのでご連絡ください。

個人の方は、平成29年度の「個人ボランティア活動希望申込書」のご提出をお願いします。内容に変更のない方、または登録を取り消される方はその旨ご連絡ください。

安心してボランティア活動を行うために！

ボランティア活動保険の更新

平成28年度のボランティア活動保険の補償期間は平成29年3月31日で終了します。

平成29年度の4月以降の加入については3月から申込みができますので、ボランティアセンターまたは社会福祉協議会でお早めに手続きをお願いします。

	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円

(他に天災タイプもあります。)

※平成29年度より加入掛金が変わりますので、ご注意ください。

全てのお問合せはボランティアセンターまでお願いします。

TEL : 23-3905/FAX : 42-0102 Mail : kureyon@sasebo-shakyo.or.jp

あなたらしさで広がるボランティア

くれよん

KUREYON



特集1 : 佐世保の子ども食堂
特集2 : ボランティアを知ろう！

2016年度 第6号
平成29年2月1日

「体験型子ども食堂もくもくプロジェクト」調理ボランティアの皆さん



佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)
〒857-0864 佐世保市戸尾町 5-1 させぼ市民活動交流プラザ 1階
TEL : 0956-23-3905/FAX : 0956-42-0102 E-mail : kureyon@sasebo-shakyo.or.jp
時間/10:00~18:45 (火~土) 10:00~17:00 (日)
休館日/月曜・祝日・年末年始



「くれよん」はボランティアの方々のご協力によって発行されています。

「子ども食堂」支援の輪が広がっています!

子ども食堂とは経済的事情や家庭環境により十分な食事を取れなかったり、一人で食事をする子どもなどを対象に、栄養バランスの取れた食事や地域の人々とのふれ合いの時間を無償や安価で提供する取り組みで、全国で少なくとも500カ所ほど展開されている活動です。

この佐世保でも多くのボランティアさんの力で広がっています。

体験型子ども食堂もくもくプロジェクト

今回は、市内で数ある子ども食堂の中のひとつ“体験型子ども食堂”をご紹介します。

『体験型子ども食堂もくもくプロジェクト』は、「親子いこいの広場もくもく」が主催し、昨年、柚木地区、広田地区、西地区の3つの地区公民館で実施されました。

平成28年9月24日に開催された柚木地区公民館にお邪魔しましたが、ボランティアとして中学生、短大生、大学生、地域住民の方々がいきいきと活動されていました。参加した地元の小学生24名と一緒に食事や工作、ゲームなど立場や世代を超えた楽しい交流の場となりました。

代表の「NPO法人 こどもと女性のエンパワメント佐世保」理事長 櫻井英子氏に、子ども達と接する活動への思いをお尋ねしたところ「子どもは、成長する力をあふれるほど持っています。大人は、そのパワーを最大限に引き出す為に努力する必要があると思います。地域住民があたたかく見守ること、家庭に安心できる声が響くこと。親でも近所の人でも、誰でもいい、子どもが悔しいとき、悲しいとき、寂しいとき、側に居るだけでいいのです。『あなたには愛される価値がある人間だって伝わるっていいなあ』と思い活動しています。」と語られました。



個人や地元企業などから寄付された食材を、調理しているボランティアさん。



みんなで、いただきます！
本日のメニューは、ピラフ、さつま芋スティック、コーンスープです。おいしそう！



食事の他にも、児童センターが出張して行く青空児童館の風船ロケットづくりやゲームで学生ボランティアと子ども達の交流が行われました。



大学生が企画する“子ども食堂”

また長崎国際大学では人間社会学部講師 大西 良先生おおし りょうの指導の下、学生達が企画する新しい形の「子ども食堂」として【三つの色『食』『職』『触』】をテーマに、食事を提供するだけでなく、職業体験や、大学構内ツアーなど、子ども達が将来の夢を持って語らう場所の提供が行われています。



10月15日に長崎国際大学キャンパスで様々な職業体験も一緒に行われました。
(写真は美容師体験の様子)



この情報紙は「赤い羽根共同募金」の配分を受けて作成しています。

地域で子ども達を支えていくボランティアを一人でも多く

ボランティアセンターでは、子ども食堂の活動を支援していくため『子どもを地域で支えるボランティアの活動』をテーマに、昨年11月13日に、させほ市民活動交流プラザにてボランティア講座を開催しました。

講師に大西 良先生と、櫻井 英子氏を迎え、お二人が活動されている「子ども食堂」の実践を通して見えてきた課題や、いま私たちにできる事などについてのお話がありました。

参加者からは「ニュースなどで知ってはいたが、子ども食堂の具体的な情報を得ることが出来てよかった」「何かお手伝い出来ることがあれば参加したい」などの感想をいただきました。

活動にご興味がある方は、ボランティアセンターまでご連絡下さい。



大西 良氏



櫻井 英子氏



講座の様子

今後も「子ども食堂」を通じて、子どもの夢づくりや地域交流の場づくりを進めて行かれます。関心のある方は、ぜひ下記ネットワークにもご参加下さい。

あなたも参加してみませんか!

第5回佐世保子ども食堂ネットワーク

子ども食堂に関わる、または関心のある様々な人や団体が繋がり学び合うための場です。

日時：平成29年2月26日(日)

13:00~16:00

場所：長崎国際大学 1号館1101教室

主催：長崎国際大学 子ども・子育て研究会

【その他、詳しくは下記へお問合せ下さい】

E-mail: onishi-ryo@niu.ac.jp

(長崎国際大学 大西 良 まで)

※事前の参加申込みはおりませんが、当日に資料代500円が必要です。

ボランティア・NPO 研修を 開催しました

去る12月11日、佐世保市民活動交流プラザにて「市民活動の壁を越えるコツ～予算0円から1億円への道～」を開催し、16団体26名が受講されました。

一般社団法人・会議ファシリテーター普及協会 代表理事 釘山 建一氏くぎやま けんいちを講師に迎え、笑顔の実践からマスコミの活用方法まで、市民活動を続け広げるために必要なコツを詳しく講義されました。

受講した方からは「楽しい講座で、ボランティアグループの作り方や活動の基本がよくわかりました」「実績は自分が出来ることからで良いんだと、目からウロコでした。」などの感想をいただきました。



児童センターまつりでも 沢山のボランティアさんが 活躍されました!

昨年の12月4日に開催された第17回「羽ばたけ児童センターまつり」でのボランティアさんの活動をご紹介します。



被災地へ送るクリスマスカード作り。ボランティアさんに教えてもらいながらみんな心を込めて作っていました。



「あそびの王様」に扮するボランティアさん 子ども達に大人気でした。